

# News Clip & AV Material

## ◆ ニュースクリップ&映像教材



### ■第38回「日本賞」グランプリ日本賞を決定

NHKでは、教育コンテンツの国際コンクールとして、教育効果が最も高く、教育放送の発展に寄与するコンテンツに贈られるグランプリ日本賞を、平成23年10月27日（木）に決定し、授賞式を行った。世界の61国と地域200機関より、コンテンツ部門に278、企画部門に35、合計313作品の応募があり、グランプリ日本賞の栄に輝いたのは「アメリカを振り返る 人種隔離バスへの抵抗」（アメリカ）。詳細については、<http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>を参照のこと。

## 文部科学省情報

### ■ 第1回「ICTを活用した先導的な教育の実証研究に関する協議会」開催される

文部科学省と総務省では、教育の情報化を推進するにあたり、文部科学省の「学びのイノベーション事業」と総務省の「フューチャースクール推進事業」、それぞれが推進する事業を連携・調整していくことが、平成23年11月14日に東京・霞が関中央合同庁舎第2号館で開催された標記協議会において、確認された。

具体的には、小中学校および特別支援学校において、電子黒板や1人1台のタブレットPC、校内LANなどのICT環境を整備し、実証研究を進めていく。実証校は、平成22年度から継続する小学校10校に加え、平成23年度に新たに決定した、中学校8校、特別支援学校2校で進められる。

詳細については、文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）付情報教育企画係  
TEL 03-6734-2090 まで。

## AV情報

### ■ パナソニック教育財団「第38回実践研究助成」募集開始

公益財団法人パナソニック教育財団では、ICTを効果的に活用し、教育課題の改善に取組む実践的な研究計画を助成し、その助成先を募集する。  
〈内容〉 ○一般（1年間助成）研究テーマは、自由。○特別研究指定校（2年間助成）には、学校が抱える普遍的なテーマについて、モデル的に取り組む学校を募集。

〈応募資格〉 小・中・高等学校、特別支援学校、教育研究グループ、教育センター、教育研究所、在外教育施設。ただし、特別研究指定校は、小・中・高等学校、特別支援学校（在外教育施設を除く）を対象とする。

〈助成内容〉 ○一般 助成金50万円×70～80件程度。○特別研究指定校 150万円×6件程度。応募方法等は、下記を参照のこと。

[http://www.pef.or.jp/01\\_jissen/08\\_oubo\\_](http://www.pef.or.jp/01_jissen/08_oubo_)

## トピックス

## 文部科学省主催「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業—中国・四国ブロック研究発表会—」11月25日に徳島県教育会館において開催

既報の通り、標記調査研究事業の中国・四国ブロック発表会（文部科学省主催／徳島県教育委員会後援）が、東海・北陸ブロックに続き、11月25日（金）徳島県教育会館（徳島市）において、「協働的な学びを支援するICT活用実践—思考力・判断力・表現力の育成をめざして—」をテーマに、中国・四国地域の学校から、約150名の教育関係者等の参加を得て開催された。

徳島県徳島市千松小学校・徳島県美馬市立江原中学校・広島県竹原市立中通小学校による実践研究発表につづき、パネルディスカッション（コー

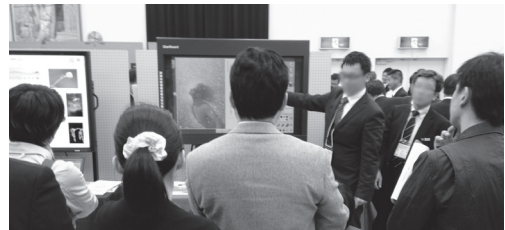


パネルディスカッション

ディネーター：香川大学准教授松下幸司氏他）、及びワークショップが行われた。ワークショップでは、日頃ICTを活用している実践者が、会場に設けられたICT教材・機材の展示ブースに分かれ、児童生徒がICTを活用して学習する授業デザインを協議することで、活発な意見交流が行われた。

教材・機材研究コーナーでは、ICT教材・機材メーカー23社が展示を行った。今後各地で開催されるブロック研究発表会の日程は、以下の通り。  
○北海道・東北 12月9日（金）仙台市立愛子小学校  
○関西 12月9日（金）和歌山県和歌山市立有功東小学校  
○関東甲信越 平成24年1月16日（月）千葉県総合教育センター

参加申し込み等詳細は、<http://www.eduict.jp/>を参照のこと。



ワークショップでのICTを活用した発表

[shinsei/08\\_oubo\\_shinsei.html](http://shinsei/08_oubo_shinsei.html)

〈募集期間〉平成23年12月1日（木）～平成24年1月31日（火）17:00まで。結果発表は、平成24年3月中旬。

〈問い合わせ〉公益財団法人パナソニック教育財団 TEL 03-5521-6100

<http://jaems.jp/contents/kenkyukai/111217-3.pdf>

〈参加費〉資料代1,000円。非会員、当日参加可。  
〈問い合わせ先〉長崎大学教育学部寺嶋浩介研究室 TEL 095-819-2377

### ■ 2011年映像情報メディア学会冬季大会

（社）映像情報メディア学会では、映像情報技術の最新成果を持ち寄り、研究者、技術者が一堂に会して意見交換を行う場として、標記大会を開催する。

〈日時〉平成23年12月21日（水）9:00～17:00・22日（木）9:00～18:05

〈会場〉芝浦工業大学豊洲キャンパス（東京都江東区豊洲3-7-5）

〈内容〉特別企画1「映像・情報エンジニアのためのMATLAB講習会」、特別企画2「これからのパーソナル電子機器のビジネス展望」、一般講演「メディア工学」「情報ディスプレイ、マルチメディアストレージ、コンシューマエレクトロニクス、情報センシング」「放送方式、放送現業」「無線・光伝送」「CGモデリングとその応用」「映像処理」「映像処理とその応用」「立体映像技術」「ヒュー

## 研究会情報

### ■ 平成23年度・第2回日本教育メディア学会研究会

日本教育メディア学会では、「学習者のメディア利用・情報行動」をテーマに標記研究会を開催する。

〈日時〉平成23年12月17日（土）13:00～17:00（受付12:30～）

〈会場〉長崎大学教育学部21番教室（長崎県長崎市文教町1-14）

〈内容〉自由研究発表、ミニ・シンポジウム「学習者のメディア利用・情報行動」等。詳細は、下記を参照のこと。

## ▶ ハードウェア

## 電子黒板とデジタル教科書連携アプリを販売

パイオニアソリューションズ(株)では、デジタル教科書発行会社と協力し、指導者用デジタル教科書と連携させた電子黒板アプリケーションの販売を開始(平成23年10月25日)した。

同社の電子黒板に、教科書会社各社が発行する指導者用デジタル教科書を登録し、専用アイコンで簡単に呼び出すことが可能(図)となる新機能を搭載。主な機能は、次の通り。

## ①「教科別の単元保存と呼び出し」

授業で使用したホワイトボードの内容を、教科別に用意されたフォルダーに保存や呼び出しが可能。単元名ごとに名前を付けて保存できるため、前回の授業の振り返りも素早くできる。

## ②「ライブカメラ映像の入力と書き込み」

オプションのビデオキャプチャーユニットにより、ビデオカメラなどのライブ映像を取り込んで表示、また、その映像の上に直接、書き込みが可能。

## ③「タッチオペレーション検索」

児童・生徒の「調べ学習」に便利で、キーボード入力を使わず、手書きで文字入力して、テキ

スト変換から検索ができる。

現在、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書出版、帝

国書院、新興出版社啓林館、日本文教出版、学研教育みらいの9社の発行する指導者用デジタル教科書が同機能に対応しており、登録された教科書を、マウスやキーボードを使わず、タッチオペレーションで、誰でも簡単に呼び出し可能で、スムーズな授業が展開できる。なお、デジタル教科書の他、ブリタニカ・ジャパンが発行するデジタル教材でも同様の機能が使用できる。詳細は、<http://pioneer.jp/edu/> を参照のこと。

〈問い合わせ先〉パイオニアソリューションズ(株)教育システム部 TEL 044-580-3218

図・専用アイコンでデジタル教科書が呼び出し可能に



スト変換から検索ができる。現在、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書出版、帝

マンインフォメーション」等。内容によっては、事前登録が必要。詳細は、下記を参照のこと。  
<http://www.ite.or.jp/data/event/new/>  
〈参加費〉当日聴講参加費 会員外(一般)11,000円、同(学生)5,500円。ただし、予稿CD不要の方は、会員外(一般)6,000円、同(学生)3,000円。

〈問い合わせ先〉(社)映像情報メディア学会 冬季大会係 TEL 03-3432-4677

MAIL gyoji@ite.or.jp

## 文部科学省選定作品

■10月選定 紙紙しばい/ビデオ/DVD  
「笑ってさよなら 一四畳半下請工場の日々」  
D60分(教養、青年・成人)(株)スターキャット・エンタープライズ

## 放送番組

## 中学生日記

(金) 19:25~19:55 / Eテレ 全国  
(土) 9:30~10:00 / 再放送 NHK総合 中部7県  
(土) 12:30~13:00 / 再放送 Eテレ 全国  
(除く中部7県)

※都合により番組内容が変更となる場合があります。

- 2日 シリーズ「コレってオレ・ウチだけ？」  
①サヨナラ、ヤミキ。
- 9日 シリーズ「コレってオレ・ウチだけ？」  
②パンドラの財布
- 16日 特別企画「願いよ届け！僕たち私たち“石コロDays”」
- 23日 中学生日記50年アンコール「内容未定」
- 30日 放送休止

## 短信

株式会社CNインターボイスでは、代表取締役社長加納誠治氏が退任し、後任に静永賢介氏が就任した。